

なないろ保育園

日時：平成20年11月10日(月) 13:00～17:00

平成20年11月14日(金) 9:00～17:00

場所：高島市今津町福岡1926

なないろ保育園では、隣接している稲刈りの終わった田んぼをフィールドにして、プログラムを作りました。
(対象：年長29名 年中35名 合計64名)

1回目は講座、下見とプログラム作り、2回目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治(しまっち)さん

講座の中で、しまっちさんは、「皆さんのあそびに対する工夫を大切にしてほしい。」と言われました。「1つのあそびをふくらませていくことは、自分でやろうと思わないとできません。このあそびを通して、子どもたちにどんなメッセージを伝えたいのか。今していることが子どもたちにどういう意味があるのか考えてください。そして今日の学習会では、楽しみながら、周りの環境に配慮し、あそびを作り、工夫しましょう。」

また、「自然の中で子どもたちが思いっきりあそぶことで、自然を好きになり、その地域を好きになり、今津の自然を大切にす気持ちをもってほしいと願っています。」と伝えられました。



下見の様子
人間コンバイン



プログラム作り

「田んぼの虫になりきろう」のプログラム

田んぼにいる虫を探し、その虫になりきります。その後でイネおにごっこをして、身近な虫に関心を持つプログラムです。

カエルとバッタは跳び方がちがうねん。



カエルになりきる

バッタは、羽が出てくるねん。



イネの格好

イネおにごっこ
カマキリにタッチされたバッタは、その場でイネになって動けなくなります。支援者がカマキリ、子どもたちがバッタです。



イナゴを見つけた。



捕まったら、イネになるよー。

田んぼには、バッタ、イナゴ、アマガエル、クモ、クサムシなどたくさんの虫がいることがわかりました。イネおにごっこで、みんながイネに変身したように、虫たちも工夫して食べられないように隠れています。

「田んぼで電車ごっこ」のプログラム

前の人の肩を持って電車になり、電車ごっこをします。支援者の指示に従い「風が吹く」と言えば止まります。「夜」目を閉じます。「新幹線」スピードアップ、「山」イネかぶを踏みます。いろんな指示に従って電車ごっこをすることで田んぼの土の感触を味わうプログラムです。

山。

イネかぶを踏むんやー。

新幹線

スピードアップや。

ガシャガシャ言ってる。

速すぎてこけるでー。

勝ったら戻るよ。



電車ごっこ



電車リレー
中央地点の駅長さんとジャンケンをし、勝ったらそのまま戻り、負けたら次の駅まで行き戻ります。

ジャンプしてこけたり、脱線してこけたりしたけれど、田んぼの土は軟らかくて、でこぼこしていることがわかりました。

「みんなで わら笑 うんどうかい!!」のプログラム

ほうれん草のにおいがする。

わらは軽い。

細い。

丸い。

タマネギのにおいがする。

柔らかい。

あっちから風が来てる。

わらはこんな物に変身します。



わら入れ競争



わら玉送り



春には田植えをし、秋に稲刈りをして、お米がとれます。そしてとれた後のわらであそんだ後、わらで作られたわらぞうりや縄、米俵などを見ました。イネからとれるわらは自然からのプレゼントです。自然物には無駄がないことがわかりました。

自然の中で子どもたちは、友だちや周りの生きものに対して、やさしくなったり、のびのびできたり、感受性が豊かになったりします。普段の保育にどのように自然を活かしていくのか。田んぼはないけれど、こんなことができるのではないかと考えて是非実践してください。